**2019年度中小企業・小規模事業者人材対策事業補助金**

サプライヤー応援隊事業 申込用紙

公益財団法人京都高度技術研究所

お申し

込み

Email [info-supplier@astem.or.jp](mailto:info-supplier@astem.or.jp)

FAX

075-315-6634

サプライヤー応援隊事務局　宛

下記の個人情報に関する利用目的等を確認し、個人情報の取り扱いについて同意したうえで、

「サプライヤー応援隊事業」への参加を申し込みます。

　　　　　　　　令和元年　　月　　日

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  |  | 年齢 | 歳 |
| 所属 | 〒 | 役職 |  |
| 住所 |  | | |
| 電話 |  | E-mail |  |
| 職種 | 経営 ・ 企画 ・ 営業 ・ 事務 ・ 研究開発 ・ 設計 ・ 販売 ・その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　）  ※当てはまるものに○をしてください。 | | |
| 得意分野 |  | | |
| 苦手分野 |  | | |

※以降のアンケートに必ずご回答ください。

［個人情報の取り扱いについて］

１．個人情報の利用目的

本申込書及びセミナーにおいて知り得た貴殿の個人情報は次の目的で使用いたします。

(1)セミナーへの参加の可否を判断する資料に使用します。

(2)本セミナーを円滑に推進する目的で、受講者名簿、名札、座席表などの作成に使用します。またメーリングリストを作成し

セミナーの運営上の連絡に使用します。

(3)本セミナーの開催時の本人確認、欠席時の確認、受講料等の請求事務処理、教材等の資料送付に使用します。

(4)本セミナー終了後、当財団が主催する講演会やセミナー、研修会、各種事業に関するご案内の送付に使用します。

２．個人情報の提供について

法令に基づく場合を除き第三者に貴殿の個人情報を提供することはありません。

３．個人情報の委託について

講師に対し貴殿の個人情報を委託します。

４．利用目的の通知、開示、訂正、利用停止、削除をご希望の場合

提供いただきました個人情報に関して、利用目的の通知、開示、訂正、利用停止、削除を希望される場合には、ご利用者本人の要求であることを確認したうえで、所定の手続により、合理的な期間及び範囲で、利用目的の通知、開示、訂正、利用停止、削除を行います。下記の問い合わせ先へご連絡ください。

５．個人情報提供に当たっての注意事項

ご記入いただく項目に不足がある場合は、本セミナーへの参加をお断りする場合があります。

６．個人情報保護管理とお問い合わせ先

＜事業者の名称＞公益財団法人京都高度技術研究所  [http://www.astem.or](http://www.astem.or.jp/).jp/

＜個人情報保護管理者＞総務部長 　 ＜窓口＞総務部

所在：京都市下京区中堂寺南町134番地

TEL：075-315-3625（代）/ FAX：075-315-3614 E-MAIL：info@astem.or.jp

※［電話受付時間］月～金 (祝祭日除く) 9:00～17:00  
[※ 財団の個人情報保護方針の詳細　http://www.astem.or](http://www.astem.or.jp/privacypolicy).jp/privacypolicy

＜サプライヤー応援隊事業 事前アンケート＞

(1)参加動機についてご記入ください。

|  |
| --- |
|  |

(2)本事業に期待することについてご記入ください。

|  |
| --- |
|  |

(3)特に習得したいスキルや知識は何ですか。当てはまるものの番号を○で囲んでください。(複数選択可)

①事業を成功に導くマネジメント力　　　　②事業全体を俯瞰してスケジュール化する計画力

③必要な活動を実行に移す行動力　　　　　④支援スキルを補完するためのネットワーキング力

⑤必要な人材を巻き込むリーダーシップ力　⑥中小製造業の現状

⑦地域の活動事例　　　　　　　　　　　　⑧自動車業界で求められる技術動向

⑨自動車業界における事業化モデル　　　　➉中小企業での技術革新によって成功した事例と成功要因

⑪ニーズ指向型研究開発の具体的な進め方と成功モデル

⑫技術の活用による新規ビジネスモデルの展開事例と成功要因

⑬技術連携による新商品開発の事例と成功要因

⑭経営分析や戦略策定等、支援に必要となる分析ツール等

⑮その他(具体的に：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　)

(4)下記の項目について、現状でのご自身の状況についてご回答ください。各項目とも、必ず選択番号(1.2.3.

4.)のいずれかを○で囲んでください。(※選択番号の意味は、各項目の(　)内を参照してください。)

①自動車関係の基盤技術について

　　　　　　　　　　　　　　　(1.詳しく知っている 2.普通に知っている 3.聞いたことはある 4.知らない)

Ⅰ.機能

1. 自動車にとって重要な３つの機能　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　1. - 2. - 3. - 4.
2. トランスミッションの主な役割　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　1. - 2. - 3. - 4.
3. ディファレンシャル・ギヤの役割　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　1. - 2. - 3. - 4.
4. ＣＶＴとオートマチックトランスミッションの違い　　　　　　　　　　　　1. - 2. - 3. - 4.
5. サスペンションが両立させる２つの機能　　　　　　　　　　　　　　　　　1. - 2. - 3. - 4.
6. ＪＣ－０８モードとは何の測定方法か　　　　　　　　　　　　　　　　　　1. - 2. - 3. - 4.
7. ＡＢＳの役割　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　1. - 2. - 3. - 4.

Ⅱ.工法

1. 自動車のボデーにハイテン鋼板を利用する目的　　　　　　　　　　　　　　1. - 2. - 3. - 4.
2. 鉄からアルミに置換するメリットとデメリット　　　　　　　　　　　　　　1. - 2. - 3. - 4.
3. 鋳造加工と鍛造加工の主な違い　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　1. - 2. - 3. - 4.
4. 金属プレス加工で順送加工と単発加工の違い　　　　　　　　　　　　　　　1. - 2. - 3. - 4.
5. マシニングセンターとはどの様な機械か　　　　　　　　　　　　　　　　　1. - 2. - 3. - 4.

Ⅲ.生産

1. ＴＰＳは何の略語か　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　1. - 2. - 3. - 4.
2. ＱＣＤの各文字は何を示しているか　　　　　　　　　　　　　　　　　　　1. - 2. - 3. - 4.
3. ４Ｍの各文字は何を示しているか　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　1. - 2. - 3. - 4.
4. 一個流しの生産方式のメリットは何か　　　　　　　　　　　　　　　　　　1. - 2. - 3. - 4.

Ⅳ.ＣＡＳＥ技術

1. ＣＡＳＥの各文字は何を示しているか　　　　　　　　　　　　　　　　　　1. - 2. - 3. - 4.
2. 電動モーターにトランスミッションが不要と言われる理由　　　　　　　　　1. - 2. - 3. - 4.
3. 電気自動車、プラグインハイブリッド車、水素電池車の主な違い　　　　　　1. - 2. - 3. - 4.
4. ５Ｇは何の技術か　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　1. - 2. - 3. - 4.
5. Ｕｂｅｒはどのようなサービスを提供しているか　　　　　　　　　　　　　1. - 2. - 3. - 4.
6. 現在の液体リチウムイオン電池の次に開発されている電池は何か　　　　　　1. - 2. - 3. - 4.
7. レベル４の自動車運転とはどの様な条件があるか　　　　　　　　　　　　　1. - 2. - 3. - 4.

②事業化支援のポイントについて

Ⅰ.事業経験　　　　　　　　　　　　　　　　　(1.多数経験有 2.若干経験有 3.殆ど無い 4.未経験)

a. 新事業を企画した経験がある　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　1. - 2. - 3. - 4.

b.プロジェクトマネジメント経験がある　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 1. - 2. - 3. - 4.

c. 市場調査の経験がある　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　1. - 2. - 3. - 4.

d. 製品開発の経験がある　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　1. - 2. - 3. - 4.

e. マーケティングの経験がある　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　1. - 2. - 3. - 4.

f. 新事業プロジェクトをサポートしたり、参画した経験がある　　　　　　　 　1. - 2. - 3. - 4.

g. 新事業に取り組んで成功した経験がある　　　　　　　　　　　　　　　　　　1. - 2. - 3. - 4.

h. 新事業に取り組んで失敗した経験がある　　　　　　　　　　　　　　　　　　1. - 2. - 3. - 4.

Ⅱ.事業の支援力　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(1.得意 2.普通 3.不得意 4.できない)

a. 自ら事業戦略方針を策定できる 　　　 　　　　　　　　　　　　　　　　 1. - 2. - 3. - 4.

b. 自ら事業計画を策定できる 　　　　　　　　　　　　　　　　 1. - 2. - 3. - 4.

c. 第三者に、事業戦略方針や事業計画をわかりやすく説明できる　　　　 　　 1. - 2. - 3. - 4.

d. 事業の実施状況から、課題やリスクを見つけることができる　　　　　 　 　 1. - 2. - 3. - 4.

e. 課題やリスクを分析して、改善方針を立てることができる　　　　　　 　 　1. - 2. - 3. - 4.

f. 改善方針から、具体的なアクションプランを提案することができる　　 　 　1. - 2. - 3. - 4.

g. 必要な経営資源を確保するサポートができる 　　　　　　　　　　　　　　　1. - 2. - 3. - 4.

③知的財産権について

　次のⅠ～Ⅲの項目に対して、1.～4.の当てはまる番号に○をしてください。

Ⅰ.特許の検索について

1. 国内検索・外国検索ともに行った経験はない

2. 国内検索のみ行った経験がある

3. 外国検索のみ行った経験がある

4. 国内検索・外国検索ともに行った経験がある

Ⅱ.特許出願を行った経験について

1. 国内出願を行ったことがない

2. 国内出願を1件から10件まで行った経験がある

3. 国内出願を11件から20件まで行った経験がある

4. 国内出願を21件以上行った経験がある

Ⅲ.知財に関する資格の取得について

1. なし

2. 知財検定3級

3. 知財検定2級

4. 知財検定1級

④コーディネータスキルについて

　　　(1.そうである 2.どちらかと言えばそうである 3.どちらかと言えばそうでない 4.そうでない)

Ⅰ. 中小企業への思い

a. 日本経済は中小企業が支えていると思う　　　　　　　　　　　　　　　　　　1. - 2. - 3. - 4.

b. 中小企業の経営者を尊重している　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　1. - 2. - 3. - 4.

c. 大企業に引けを取らない良い中小企業があると思う　　　　　　　　　　　　　1. - 2. - 3. - 4.

Ⅱ. 性格

a. 人の役に立つことや裏方の仕事が好きである　　　　　　　　　　　　　　　　1. - 2. - 3. - 4.

b. 明るい性格である　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　1. - 2. - 3. - 4.

Ⅲ. コミュニケーション力

a. 相手を尊重して接している　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　1. - 2. - 3. - 4.

b. 聞き上手である　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　1. - 2. - 3. - 4.

c. 納得しない相手へ粘り強く説明し、きちんと理解させることができる　　　　　1. - 2. - 3. - 4.

d. 相手が動くまで、我慢して待つことが出来る　　　　　　　　　　　　　　　　1. - 2. - 3. - 4.

e. 「例えば～」を上手く使って、相手に分かりやすく説明できる　　　　　　　　1. - 2. - 3. - 4.

Ⅳ. ナビゲート力

a. 必要な経営資源や技術を具体化することができる　　　　　　　　　　　　　　1. - 2. - 3. - 4.

b. ゴールに向けて、粘り強く継続して相手をサポートできる　　　　　　　　　　1. - 2. - 3. - 4.

c. 得られた情報や話題に対し「事実」「仮説」「思い」を区分して考えている　　　1. - 2. - 3. - 4.

Ⅴ. 分析力

a. ＳＷＯＴ分析ができる　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　1. - 2. - 3. - 4.

b. 財務分析ができる　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　1. - 2. - 3. - 4.

c. 保有技術を分析できる　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　1. - 2. - 3. - 4.

d. 管理会計を理解している　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　1. - 2. - 3. - 4.

Ⅵ. 情報・ネットワーク

a. 自分の専門分野だけでなく、雑学や社会状況も含めて、情報収集に積極的　　　1. - 2. - 3. - 4.

に取り組んでいる

b. 幅広いネットワーク・人脈を持っている　　　　　　　　　　　　　　　　　　1. - 2. - 3. - 4.

c. 自動車業界の動向を認識している　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　1. - 2. - 3. - 4.

d. 中小企業の支援策を多く知っている　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　1. - 2. - 3. - 4.

(5)本事業に対するご意見等がございましたら、ご自由にご記入ください。

|  |
| --- |
|  |

以上

https://www.astem.or.jp/whatsnew/topics/20190626-26013.html

【 サプライヤー応援隊事業事務局 】

〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134番地　公益財団法人 京都高度技術研究所 (ASTEM)  
 　 地域産業活性化本部 人材育成支援部　「サプライヤー応援隊事業事務局」：山口・遠藤

✆ 075-315-3708　 Fax：075-315-6634　　✉ [info-supplier@astem.or](mailto:info-supplier@astem.or).jp